

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	熊本保育医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	医療管理2年制学科	夜・通信	390時間	160時間	
教育・社会福祉専門課程	保育福祉学科	夜・通信	320時間	160時間	
	保育福祉専攻科	夜・通信	170時間	80時間	
文化・教養専門課程	スポーツ学科	夜・通信	330時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	熊本保育医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2025.5.29～4年 以内に終了する 会計年度のうち 最終のものに関 する定時評議員 会の終結の時ま で	法人運営における 法務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システ ム開発・印刷関連企業 代表	2025.5.29～4年 以内に終了する 会計年度のうち 最終のものに関 する定時評議員 会の終結の時ま で	学生募集、教材開発 への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	熊本保育医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>《授業計画の作成》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。 <p>《授業計画書の作成・公表時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成時期は、1月から12月末日まで。公開時期は4月とする。 	
授業計画書の公表方法	https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者等宛に通知する。</p> <p>(1) 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種で判定し、「秀・優・良・可」を合格(認定)とし「不可」は不合格(不許可)とする。</p> <p>(2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。</p> <p>(3) 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、「秀・優・良・可」を取得した学生には所定の単位を与える。</p> <p>(4) 学校が必要と認めた場合に限り、追試験または再試験等を実施する場合がある。追試験は事故等やむを得ない理由により試験等を受験しなかった者に対し行う。再試験は試験等受験の結果、不合格となった者に対して実施する。</p> <p>(5) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンス等で確認すること。</p> <p>(6) 奨学金等を利用される方は給付継続のため出席管理(成績管理)に気をつけること。</p> <p>(学業成績)</p> <p>学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、成績評価は90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP(Grade-Point)を与える。</p> <p>(単位の授与)</p> <p>授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀・優・良・可を取得した学生には所定の単位を与える。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標としてGPA(Grade Point Average)を採用し、本校の成績評価に使用している。本校ではGPAを基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標としてGPAを活用している。この客観的な成績評価指標についてはHPで公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な算出方法は、 $GPA = \frac{\text{各科目の(時間数} \times \text{評価ポイント)の合計}}{\text{総時間数(履修登録時間の総数)}}$ (評価ポイント 秀:4ポイント 優:3ポイント 良:2ポイント 可:1ポイント 不可:0ポイント)である。 ・GPAは学期ごとに求め、学生自身の学修状況の理解に役立つ。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>《修了・卒業について》</p> <p>修了・卒業の認定は、下記に定める授業時間の履修及び所定の授業科目の成績評価に基づき卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。</p> <p>医療管理2年制学科は1,860時間 保育福祉専攻科は930時間 保育福祉学科は1,710時間 スポーツ学科は1,830時間</p> <p>・関係法令に基づき、本校が定める授業科目を履修して、本校の教育・社会福祉専門課程保育福祉学科を卒業する者は保育士の資格（児童福祉法第18条の6）を取得することができる。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	熊本保育医療スポーツ専門学校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/financial-overview.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	医療管理2年制学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間	1,230 単位時間	840 単位時間	420 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,490 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		43人	0人	12人	12人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業方法及び内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 <p>《年間の授業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。

成績評価の基準・方法
(概要) 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、成績評価は90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準によりGP (Grade-Point) を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 《進級について》 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。 《修了・卒業の認定》 修了・卒業の認定は、下記に定める授業時間の履修及び、所定の授業科目の成績評価に基づき、卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。 医療管理2年制学科 1, 860時間
学修支援等
(概要) 無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者等、担任による三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	32人 (94.1%)	2人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 病院、クリニック、歯科医院等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習 入社前準備プログラム等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務能力認定試験（医科）、医師事務作業補助技能認定試験 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55人	3人	5.5%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下、就職のため 等		

(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談(本人)、進路相談(本人・保護者等) 教務主任・担任による面談(本人・保護者等)等

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	保育福祉学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間	750 単位時間	1,650 単位時間	320 単位時間	0 単位時間	30 単位時間
			2,750 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		77人	0人	12人	12人	24人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 《授業方法及び内容》 ・授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 《年間の授業計画》 ・授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
成績評価の基準・方法
(概要) 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、成績評価は90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP (Grade-Point) を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) 《進級について》 進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修得を行い、かつ出席状況等の学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。 《修了・卒業の認定》 修了・卒業の認定は、下記に定める授業時間の履修及び、所定の授業科目の成績評価に基づき、卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。 保育福祉学科 1, 710時間

学修支援等 (概要) 無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者等、担任による三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	17人 (40.5%)	25人 (59.5%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 認可保育所、認定こども園、児童養護施設等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習等			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士資格、リトミック指導資格1・2級、幼児体育指導者検定2級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	5人	6.1%
(中途退学の主な理由) 持病の悪化、学習意欲の低下、欠席が頻繁で成業の見込みがない、家庭の都合 等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談（本人）、進路相談（本人・保護者等） 教務主任・担任による面談（本人・保護者等）等		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	教育・社会福祉専門課程	保育福祉専攻学科	○	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	930 単位時間	330 単位時間	780 単位時間	170 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
1,280 単位時間							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	17人	0人	12人	12人	24人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>《授業方法及び内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。 <p>《年間の授業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業計画（シラバス）について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業（各学科）担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、成績評価は90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP（Grade-Point）を与える。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>《修了・卒業の認定》</p> <p>修了・卒業の認定は、下記に定める授業時間の履修及び、所定の授業科目の成績評価に基づき、卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。</p> <p>保育福祉専攻科 930時間</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者等、担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 （100%）	0人 （0%）	16人 （94.1%）	1人 （5.9%）
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>認可保育所、認定こども園、児童養護施設等</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習等</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 幼稚園教諭2種免許状、社会福祉主事 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による定期面談(本人)、進路相談(本人・保護者等) 教務主任・担任による面談(本人・保護者等) 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツ学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,830 単位時間	980 単位時間	370 単位時間	540 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		56人	0人	12人	12人	24人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<<授業方法及び内容>> ・授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 ・複数の課程、学科、クラスで合同授業科目又は同一内容の授業を行う場合、授業等に支障をきたさない限り、合同授業又は合併授業を行うことがある。
<<授業計画書の作成>> ・授業計画(シラバス)について毎年度、学科会議により授業科目の設定・講義内容についての検討に基づき、各授業(各学科)担当教員により作成を行っている。 ・なお、専門分野に関する企業、団体等との連携により教育課程編成委員会を設け意見交換を行い、取り入れるべき技術要素の提案および改善点の指摘を受け、期末に見直しと内容の更新を行い、各授業科目の内容に反映させている。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、成績評価は90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上80点未満「良」、60点以上70点未満「可」、60点未満は「不可」の5段階評価とする。授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP (Grade-Point) を与える。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>《進級について》</p> <p>進級の認定は、各学科の各学年において定める授業時間の履修および単位の修得を行い、かつ出席状況などの学習姿勢も考慮の上、進級判定委員会にて審査を行う。</p> <p>《修了・卒業の認定》</p> <p>修了・卒業の認定は、下記に定める授業時間の履修および授業科目の成績評価に基づき卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。</p> <p>スポーツ学科 1,830 時間</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>無断欠席の場合、電話連絡 本人、保護者等、担任による三者面談等</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	27人 (90%)	3人 (10%)
(主な就職、業界等)			
主にスポーツ業界に就職し、スポーツクラブや幼児体育などのインストラクター、トレーナーとしての職種に就く。			
(就職指導内容)			
就職ガイドブック、就職ノートブック等の教材を用いて、業界研究、自己分析、応募書類作成、面接練習、身だしなみ・マナー等の指導を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
NSCA 認定パーソナルトレーナー、健康運動実践指導者、幼児体育指導者 2 級、MOS(Excel)、MOS(Word)、体力トレーニング検定 3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
63 人	2 人	3.2%
(中途退学の主な理由) 学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席が多くなりつつある学生に対し、個別で連絡を取り、保護者等と面談を実施する。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療管理2年制学科	150,000 円	640,000 円	370,000 円	
保育福祉学科	150,000 円	640,000 円	440,000 円	
保育福祉専攻科	150,000 円	640,000 円	370,000 円	
スポーツ学科	150,000 円	640,000 円	380,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
<p>学校関係者評価委員会は、設置されている学科に関連する保育施設、医療機関、スポーツ施設、学術機関有識者、業界団体、卒業生等の8名の委員で構成される。</p> <p>学校関係者評価は、教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、自己評価した結果を踏まえ、学校関係者評価委員それぞれの視点からの意見を伺い、お互いの理解を深めるためのものとする。また、その評価の過程において自己評価の妥当性を検証すると共に、委員から提示された課題、改善提案等を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)に反映させることを基本方針とする。また、委員会での協議結果は大原学園教育本部に提出し、大原学園全校の教育課程編成にも活用する。</p> <p>評価項目は、文部科学省が示す「専修学校における学校評価ガイドライン」に準ずる項目で、学校運営、教育活動、学修成果等である。</p>

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人熊本県保育協会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	業界団体関係者
日本医師事務作業補助研究会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	業界団体関係者
九州看護福祉大学 看護福祉学部	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	学術機関等有識者
児童養護施設 菊水学園	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日(2年)	企業等委員
スポーツクラブ&スパ ルネサンス熊本南	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日(2年)	企業等委員
MY-GYM Art de vivre	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日(1年)	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H143310000460
学校名 (〇〇大学等)	熊本保育医療スポーツ専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園等)	学校法人 大原学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		45人 (1) 人	45人 (3) 人	50人 (4) 人
内 訳	第Ⅰ区分	25人	21人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅱ区分	10人	9人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅲ区分	9人	12人	
	(うち多子世帯)	(0人)	(0人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	0人	0人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	1人	3人	
区分外 (多子世帯)	0人	0人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				人 () 人
合計 (年間)				50人 (4) 人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 <small>(単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が廃止の基準に該当)</small>	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	1人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	1人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	6人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。